



日本住を快適空間!

# ダンネット通信

2012.Autumn vol.78

発行：株式会社ダンネット 〒070-8045 北海道旭川市忠和5条4丁目9-17 TEL(0166)61-9151・FAX(0166)61-2044

## 今月のトピックス

### 改正省エネ基準と低炭素住宅基準が登場間近

国土交通省と経済産業省では、年内にも公布・施行が見込まれる改正省エネ基準と低炭素住宅認定基準の素案を公表しました。改正省エネ基準は躯体で現行省エネ基準（11年基準）と同等の断熱性能を確保したうえで、一次エネルギー消費量を基準値以下にするという内容。低炭素住宅認定基準はさらに一次エネルギー消費量を1割削減し、2つ以上の低炭素化措置にも適合させることが求められています。

#### Q値に代えU値と一次エネで判断

改正省エネ基準については、熱損失係数（Q値）ではなく、建物外皮の平均熱貫流率（U値）と年間一次エネルギー消費量（単位：GJ〈ギガジュール〉）で適合を判断する基準となり、地域区分は名称を現行のI～VI地域から1～8地域へと変更。2020年までにすべての新築住宅で義務化されることとなります。

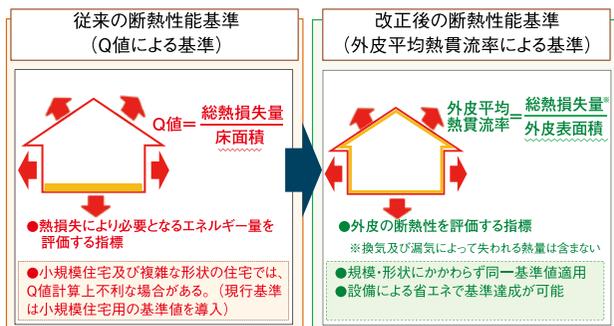
Q値による基準値を止めたのは、小規模な住宅や複雑な形状の住宅が計算上不利になる現象を解消するため、外皮平均熱貫流率の基準値は北海道など1・2地域は0.46 W（/㎡・℃）、北東北など3地域は0.56 W、南東北・信越など4地域は0.75 W、関東から九州までの5・6地域は0.87 Wなどとなっており、断熱性能レベルとしては現行省エネ基準程度です。

#### 一次エネは太陽光発電分を差し引き可能

一次エネルギー消費量は計算式を用いて、基準値となる消費量＝基準消費量と、建設する断熱・

設備仕様による消費量＝設計消費量を算出。基準消費量は現行省エネ基準の躯体に2012年時点で一般的な性能の設備を組み合わせた時の一次エネルギー消費量を想定しており、設計消費量が基準消費量以下であれば基準クリアとなります。

なお、太陽光発電は自家消費相当分の電力量を一次エネルギーに換算し、設計消費量から差し引くことが可能です。



改正省エネ基準ではQ値基準がなくなり、外皮平均熱貫流率基準を導入

#### 低炭素住宅はより省エネに

低炭素住宅は、「低炭素まちづくり法」の中に認定制度が盛り込まれており、認定を受けた住宅には各種税制優遇措置が用意される予定。

その認定基準案は①改正省エネ基準の外皮平均熱貫流率の基準値をクリア②改正省エネ基準より一次エネルギー消費量を10%以上削減③木造による建設や一定数以上の節水型機器採用など8つの低炭素化措置のうち2つ以上採用一が要件。

改正省エネ基準は来年4月、低炭素住宅基準は今年12月に施行される見通し。住宅業界にとって、大きなターニングポイントになりそうです。

# 付加価値ある外壁改修提案

～(株)ブレイン工房 (北海道札幌市)～

外断熱新外装材「DAN壁」(だんぺき)を採用することにより、価格競争となりがちな外壁改修において高断熱化という付加価値を付けたリフォームを提案している(株)ブレイン工房。『ハート♥リフォーム さっぽろ』という屋号で小さい工事も含めれば年間100件前後のリフォームを手がける同社では、「DAN壁」をどのように活用し、今後どのような展開を考えているのか。福田誠社長におうかがいしました。

## お客様が120%満足できるように

「会社という組織の一員としてリフォームの仕事をしていても、数字至上主義になってお客様の気持ちを100%受け止めることはできませんでした。それでもこの仕事が好きで、お客様にも喜んで

てもらいたいと思いついて、この会社を立ち上げたんです」と語る福田社長。

以前は店舗の設計・施工を行う会社に勤めていた福田社長だが、ユーザーの

話をじっくり聞いて、不安や不満を残すことなく120%満足してもらえるリフォームを提供したいと、平成16年にブレイン工房を設立。今年9月には札幌市西区に気軽に来店できる雰囲気のあるショールームをオープンするなど、よりユーザーとのコミュニケーションを深めることに力を入れています。

そんな同社が普段から心掛けているのが“笑顔のリフォーム”。取っ手の取り替えからフルリフォームまで新築以外はすべて行う中で、ユーザーの不安や不満を解消するまで絶対契約しないと宣言し、通り一辺倒な提案ではなく、ユーザーの希望をしっかりと聞きながら違った発想や気づきをしてもらえる情報を提供しつつ、自分とユーザーが



福田社長



今年9月にオープンしたショールーム。「DAN壁」のサンプルも展示している



ブレイン工房が独自に作成した「DAN壁」のPR資料

同じ目線で完成をイメージしながら行うリフォームによって、ユーザーから笑顔を頂くという考えです。

そのため、①ユーザーと会って信頼を築く②ユーザーの不満を徹底的に聞き取る③3種類程度のプランを提出④プラン確定⑤個々の仕様を詳しく決定⑥見積書提出—という6つのステップを経て契約に至ることになります。

## DAN壁で特色あるリフォームが可能

そんな同社が今年から新たに採用したのが、高断熱化と同時に高耐久で多彩なテクスチャーの湿式外装仕上げを実現できる「DAN壁」。これまで2棟に採用し、現在3棟目を施工中です。

採用のきっかけは、今年の冬にハウスメーカーがパネル工法で建てた住宅のリフォームでした。ユーザーからは外壁をきれいにすると同時に暖かくしたいという要望があり、何かいい建材はないかと考えていたところに設計事務所から紹介されたのが「DAN壁」。実は以前にもダンネツの担当者が同社に紹介していたため、改めて担当者から話を聞き、リフォームフェアでの展示も見学。

福田社長は「DAN壁は外壁改修と外断熱を一度にできるのが大きなメリット。ただ単にサイディングを張り替えるだけでは、お客様が満足できないと思っていたところ、外壁・断熱というキーワードに合致するいい建材に出会いました。外装材のリフォームだけでは価格競争になりがちです

が、DAN壁は高断熱化もできるという付加価値があるため、自社の特色にもなるリフォームを提案できます」と言います。

施工実績のうち、1棟目と現在施工中の3棟目は50mm厚、2棟目はユーザーの要望もあり100mm厚で施工。いずれも一部を除いて既存の外装材の上から「DAN壁」を直張りしています。採用物件のオーナーはまだひと冬越していないので、暖かさはこれから体感することになりますが、外装仕上げについては「こんなにキレイに仕上がって嬉しい」「落ち着いた感じに仕上がっている」「(表面が)弱いものと思っていたがそうではなかった」という評価を頂いているそう。

## 快適な住宅のキーポイントになる

「内装仕上げや換気など室内環境の改善も含まれた中で、暮らしやすく、快適な住宅を考えていった時、DAN壁はキーポイントになる建材。外装仕上げも塗り方によっていろいろできるし、後々のメンテナンスも費用負担がかからず、見た目もいいのでお客様に勧めやすい。DAN壁を知らないお客様にはどんどん教えていきたいですね」という福田社長。

今年3棟に採用したことにより、来年はDAN壁に関心を持ったユーザーに実際に見てもらえることができるので、さらに採用件数を増やしていきたいと考えているそうです。



落ち着いた茶系色によるトップコートによって、高級感あふれるエクステリアとなった事例



明るい色のトップコートで仕上げ、古めかかったこれまでの外観を一新

# 地域材活用にポイントも～ゼロエネ住宅などへの補助は継続～

各省庁から公表された平成25年度予算概算要求によると、住宅関連では今年度から始まった地域型住宅ブランド化事業とゼロエネルギー住宅に対する2つの補助事業が引き続き盛り込まれているほか、新たに地域材を活用した木造住宅等に農林水産物と交換できるポイントを与える「地域材活用促進支援事業」や、既存住宅への高性能建材導入に補助を行う「既存住宅における高性能建材導入促進事業費補助金」などが計画されていることが明らかになりました。

このうち「地域材活用促進支援事業」は、農林水産省が新たに予算要求しているもの。地域ごと原木供給者や木材加工流通業者、住宅会社などが設立した協議会のもとで行われる地域材活用の木造住宅建設や木製品の購入に対し、地域の農林水産物と交換できるポイントを与える考えです。

「既存住宅における高性能建材導入促進事業費補助金」は、経済産業省が新規に予算要求しており、既存住宅に一定の省エネ性能を満たす断熱材



地域材を軸組に使った住宅。農水省では地域材を利用した住宅などに農林水産物と交換できるポイントを付与する事業を計画している

や窓を設置する場合に補助を行う計画。

このほか、経産省では家庭用燃料電池・エネファームの設置に対する補助事業に加え、さらに停電時でも作動する自立防災型高効率給湯器の設置に対する補助事業も新規に行う予定。なお、住宅用太陽光発電の補助は来年度も継続される予定ですが、補助額は引き下げられる見通しです。

●編●集●後●記●

◆省エネ基準の改正や低炭素住宅基準の創設など、これから年末にかけて国の動きから目を離せない状況が続きます。これらの動きが住宅業界やエンドユーザーにとってより良い家づくりにつながることを願っています。(野村)

◆今年の残暑は北海道でもかなりこたえました。ここ数年、北海道の住宅も夏の暑さ対策を真剣に考える気運が高まっていますが、この残暑をきっかけに“冬も夏も快適な家づくり”がもっと進んでほしいものです。(水越)



**株式会社ダンネツ**

ホームページURL <http://www.dan-netsu.co.jp/>  
E-mailアドレス [info@dan-netsu.co.jp](mailto:info@dan-netsu.co.jp)

**「快適な住まいづくり」はお任せ下さい!**

- フローリング工事各種
- 外断熱工事
- 気密工事
- ウレタン吹付工事
- 断熱建材製造販売
- 住宅性能診断

■本 社	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目9-17	TEL(0166)61-9151 FAX(0166)61-2044
■旭川第一工場	〒071-1248 上川郡鷹栖町8線西2号	TEL(0166)87-4442 FAX(0166)87-4888
■旭川第二工場	〒070-0014 旭川市新星町514番地1	TEL(0166)21-7080 FAX(0166)21-7080
■札幌支店	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3966 FAX(011)875-3971
■旭川支店	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目9-17	TEL(0166)62-7575 FAX(0166)61-1715
■帯広支店	〒080-2460 帯広市西20条北2丁目27-10	TEL(0155)41-4101 FAX(0155)41-4105
■釧路支店	〒088-0621 釧路郡釧路町桂木5丁目15	TEL(0154)36-1790 FAX(0154)36-1844
■北見支店	〒099-0878 北見市東相内町174番地16	TEL(0157)36-3557 FAX(0157)36-3433
■北関東支店	〒362-0047 埼玉県上尾市今泉1丁目27-4	TEL(048)783-1666 FAX(048)783-1667
■千葉支店	〒262-0011 千葉県千葉市花見川区三角町16番2	TEL(043)258-4065 FAX(043)258-4025
■宇都宮支店	〒321-0932 栃木県宇都宮市平松本町362-6	TEL(028)636-1266 FAX(028)636-2675
■平塚支店	〒254-0018 神奈川県平塚市東真土4丁目2-69	TEL(0463)54-6484 FAX(0463)54-2430
■水戸支店	〒310-0841 茨城県水戸市酒門町西割4312-3	TEL(029)248-6761 FAX(029)248-6762
■仙台事務所	〒983-0037 宮城県仙台市宮城野区平成2-18-38	TEL(090)1378-5494 FAX(048)783-1667
■ダンネツ信州	〒399-0033 長野県松本市大字笹賀5130-1	TEL(0263)26-0811 FAX(0263)26-1016